

## 船舶事故調査報告書

平成23年12月1日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委 員 横 山 鐵 男（部会長）  
 委 員 庄 司 邦 昭  
 委 員 石 川 敏 行

事故種類	衝突（シルト流出防止枠）
発生日時	平成22年12月14日 05時20分ごろ
発生場所	香川県小豆島町小豆島北岸 小豆島町所在の福田港北1号防波堤灯台から真方位322° 1.5海里付近（概位 北緯34° 33.9′ 東経134° 19.8′）
事故調査の経過	平成23年3月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	作業船 第五 <sup>ふくわ</sup> 福和丸、1,152トン 134260、大同海運有限会社 64.50m×15.00m×6.00m、鋼 ディーゼル機関、1,471kW、平成8年11月26日
乗組員等に関する情報	船長 男性 51歳 四級海技士（航海） 免許年月日 平成8年7月4日 免状交付年月日 平成18年5月18日 免状有効期間満了日 平成23年7月3日
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船首部に凹損及びスラスタが故障 シルト流出防止枠 破損
事故の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、小豆島北岸の碎石会社が所有するコンクリート製のシルト流出防止枠（以下「本件防止枠」という。）に左舷着けするため、本件防止枠の約100m手前で右舷船尾錨に続いて右舷船首錨を投入し、極微速力前進で本件防止枠に接近していた。 船長は、本件防止枠の手前約10mのところでは本件防止枠との距離を保つため、主機を後進にかけて行きあしを止めようとした。 本船は、北西からの風を受けて船首が左舷方に圧流され、平成22年12月14日05時20分ごろ、本船の左舷船首部が本件防止枠に衝突した。 船長は、船体及び本件防止枠の損傷状況を確認後、船舶所有者に連絡した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約10m/s、視界 良好 海象：波高 約1～1.5m、潮汐 高潮時（微弱な東流） 日出時刻：07時02分ごろ
その他の事項	本事故発生場所の南南西方約10.5kmに位置する内海地域観測所の観測値は次のとおりであった。

	<p>05時10分 晴れ、平均 北西風3.8m/s、最大 北西風7.1m/s</p> <p>05時20分 晴れ、平均 北西風4.4m/s、最大 北西風7.4m/s</p> <p>05時30分 晴れ、平均 北西風3.5m/s、最大 北西風6.9m/s</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、小豆島北岸において本件防止柵に接岸作業中、右舷正横からの風により船首部が圧流されたことから、左舷船首部が本件防止柵に衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、小豆島北岸において本件防止柵に接岸作業中、右舷正横からの風により船首部が圧流されたため、左舷船首部が本件防止柵に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	